

エッセンシャルガイド『グラフィックユーザーのための機能ハイライト』

# Essential Guide for Graphic Users



Adobe® Photoshop® CS2 日本語版



# for All Users

A

22

ワークスペース  
カスタマイズで自分好みのPhotoshopに  
瞬時に切り替わる

22

イメージプロセッサ  
退屈で煩雑な作業を自動化



18

セレクト——Adobe Bridge  
多彩な表示モードを活かして  
ベストショットを選び抜く

19

RAW現像——Camera RAW  
撮影時以上のイメージを紡ぎ出す

20

レタッチ  
写真を自在に操りフィニッシュする

# for Photographers

P

8

Vanishing Point (バニッシングポイント)  
2次元の壁を越えて

10

ワープ  
大胆で繊細な画像加工を簡単に

11

修復  
画像中のゴミやキズもワンクリック

12

レイヤー  
レイヤー機能の強化で操作性を向上

13

フロントプレビュー  
わかりやすくスピーディーなフロント選び

13

プリント  
多彩なプリントプレビューで  
印刷の試行錯誤を軽減

14

スマートオブジェクト  
ベクトルとビットマップの華麗なる融合

# for Graphic Designers

D

これまで誰も見たことがない  
新しいデジタルイメージングの  
世界へようこそ。  
Adobe Photoshop CS2が  
誘います。

# Adobe® Photoshop® cs2 日本語版

「デジタルイメージングのスタンダード」。デジタル画像を扱うソフトは世にたくさんありますが、Photoshopほど卓越した機能を有し、高品質な画像をハンドリングできるソフトは他に類を見ません。

クリエイターはさまざまなアプリケーションを利用しますが、Photoshopが扱うデジタル画像は、そのものが作品となることもある一方で、クリエイティブの部材(パーツ)にもなります。その意味では、Photoshopほど多くのクリエイターに愛されているアプリケーションもないでしょう。デザイナー、フォトグラファーをはじめ、出版や広告、印刷、Web制作それぞれの現場

で広く使われています。

その最新版であるPhotoshop CS2は、さらなる機能を追加し、使いやすさも極限まで追求。クリエイティブに欠かすことができないツールであると同時に、クリエイティブをより一層高めることができるツール、それがPhotoshop CS2なのです。

新たに追加された機能はたくさんありますが、たとえば、画像を自由自在に変形させることができる「ワープ」、ビットマップ画像の画質や解像度を低下させずに縮小・拡大が行える「スマートオブジェクト」、遠近法を利用して画像をパースに合わせて変形させることができる「Vanishing Point

(バニッシングポイント)」などはクリエイティブな作品づくりに活躍することでしょう。

フォトグラファー向けの機能としては歪曲収差や色収差、遠近補正が一度に行える「レンズ補正」や、デジタル画像のざらつき感を抑える「ノイズを低減」、RGB時代の新しいシャープフィルタである「スマートシャープ」などが新たに搭載されました。Photoshop CS2は新次元のクリエイティブ表現を垣間見せてくれると同時に、スムーズな作業の効率化も十分に考慮しました。これまで誰も見たことがない新しいデジタルイメージングの世界を創造します。さあ、今日からあなたも……。



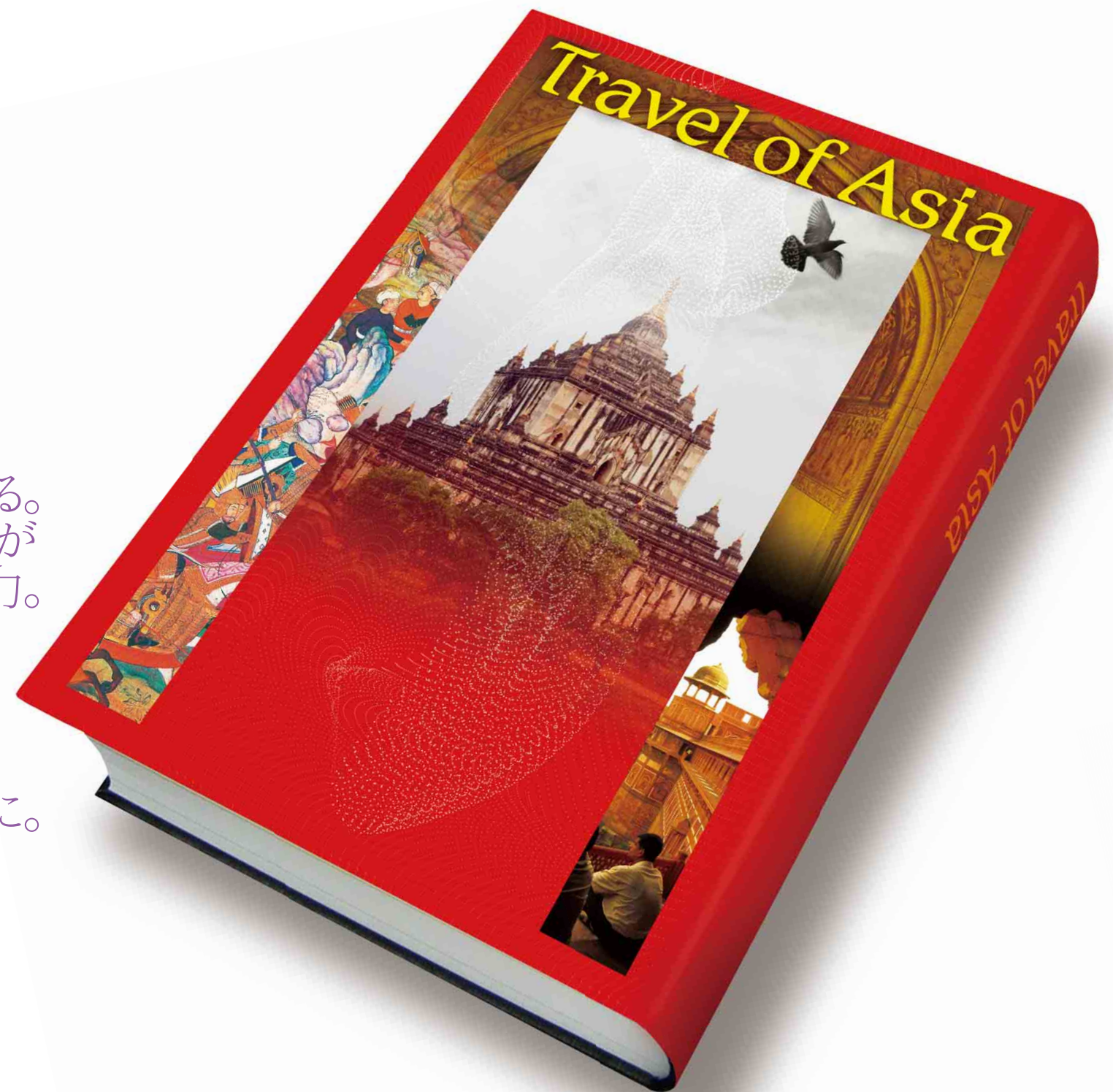


クリエイティブを刺激し、イメージを定着させる。  
豊かな表現力を持つ多彩な機能とスマートな操作が  
進化したPhotoshop CS2の魅力。

すべては未来のデザインのために。

# for Graphic Designers

デジタル画像の編集ツールとして知られるPhotoshopですが、  
その機能はフォトグラファーのみならず、デザイナーにとってもまた魅力的なものばかり。  
Photoshop CS2はバージョンで数えればすでに9.0。その間、機能の向上を図るだけでなく、  
操作性そのものも快適さを追求してきました。他のアプリケーションとのシームレスな連携も万全。  
Photoshop CS2…。高次元の表現力を手にしたいすべてのデザイナーへ。



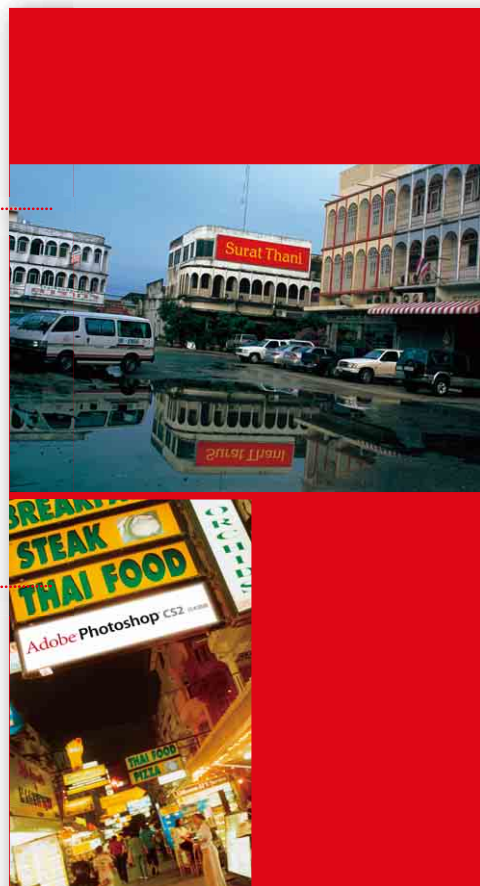


## Vanishing Point

(バニッシングポイント)

▶8ページ参照

建物の壁面や、床面、あるいは地面など、パースのついた部分を加工するのに最適なツールが「バニッシングポイント」です。わざわざマニュアル操作で遠近感を補正する必要はありません。画像の持つパースに合わせて、合成画像が自動的に変形されます。違和感のない自然なイメージで看板を配置するのも簡単です。

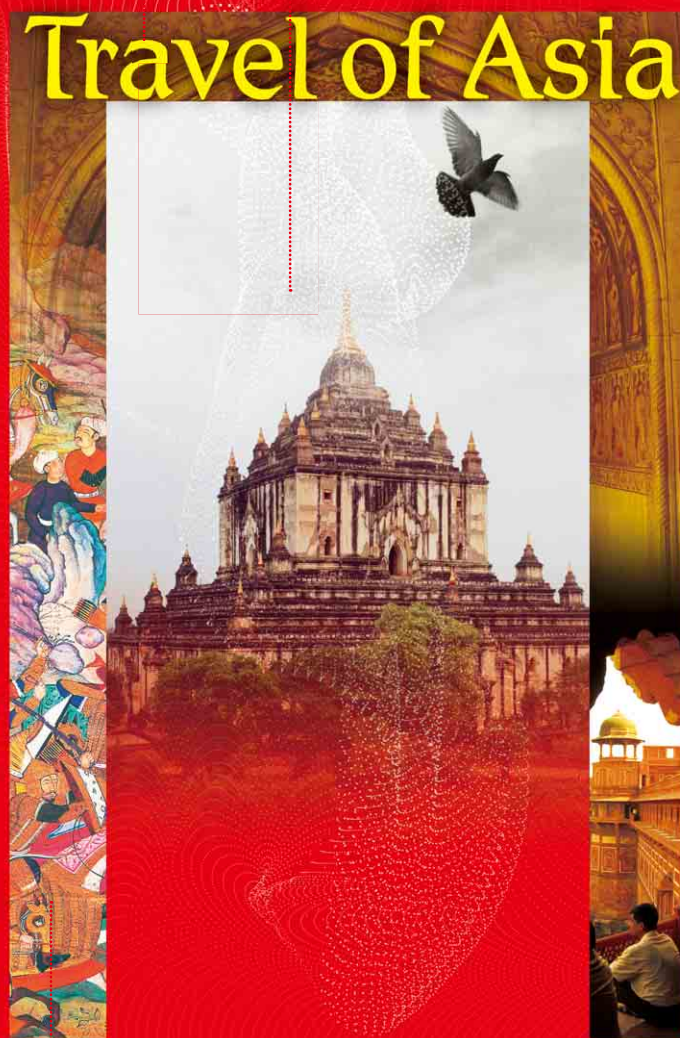


▶Photoshop CS2の機能を解説するために作成された、架空のブックカバーです。  
写真提供 —— 伊藤準 (TAVOLA)

## ベクトルデータを Photoshopに取り込む

▶14ページ参照

Adobe Illustratorで作成したベクトルデータを、オリジナルデータの品質を落とさずに取り込む機能が「スマートオブジェクト」。特にロゴの変形の自由度を高め、品質の高い出力をサポートします。「スマートオブジェクト」はビットマップ画像に対しても有効で、拡大・縮小しても解像度の低下がありません。



## 容易になった複数レイヤーのハンドリング

▶12ページ参照

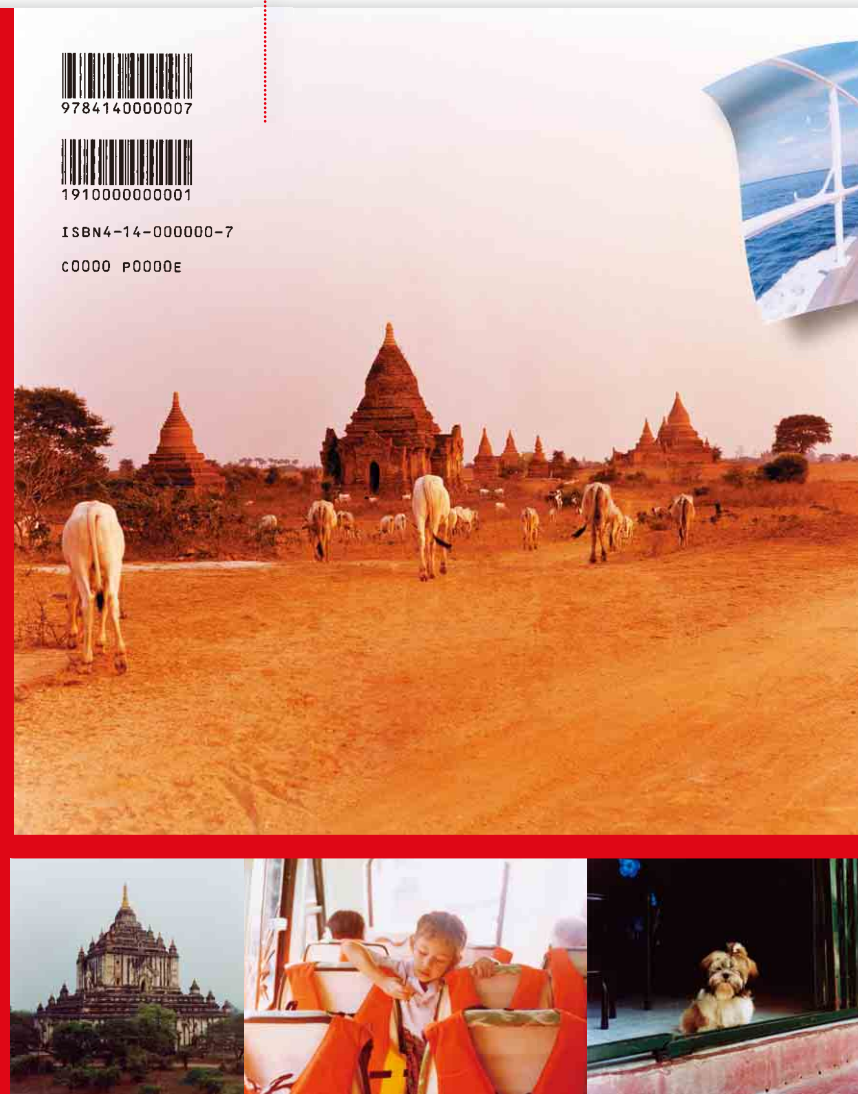
アクティブでないレイヤーに配置されたオブジェクトを移動したり、整列したりできる便利な機能が「スマートガイド」。操作のたびに逐一レイヤーを選択し直す必要がなく、別レイヤーのオブジェクトを、直接操作し、整列させることができます。また複数レイヤーのグループ化などにも対応。レイヤー操作のハンドリングが向上しています。

フォトグラフ、イラストレーション、タイポグラフィなど、グラフィックデザインの要素がまんべんなく使われる書籍のカバーデザイン。ここではそんなブックカバーのデザインを例に取り上げ、Photoshopの新機能やそれらを利用するノウハウをお伝えします。

## 画像を選ばない修復ツール

▶11ページ参照

不要物をスマートに消したり、ゴミやキズを隠したり…。画像修正に便利な修復機能をもつツールを複数用意しました。消したい部分をワンクリックするだけで処理できる「スポット修復ブラシツール」をはじめ、「修復ブラシツール」「パッチツール」など、最も効果的で手軽なツールをお使いください。



## 直感的に書体を選べるフォントプレビュー

▶13ページ参照

Photoshop CS2では、「フォントプレビュー」機能を新たに搭載しました。フォントメニューの各フォント名の横に書体サンプルが表示されるようになっています。実際に文字を入力しなくても、使いたいフォントのデザインがすぐにわかります。もう、フォント選びで試行錯誤を繰り返す必要はありません。

## ワープツールによる大胆な変形

▶10ページ参照

ベクトルデータのようにビットマップデータを思いのままに変形する機能が「ワープ」です。従来いくつかの変形機能を組み合わせたり、3Dソフトで加工（マッピング）していたような、曲面を形成する変形がフレキシブルに行えます。変形にペジェを使っているので作業後の仕上がりもとても高品質です。



## より使いやすくなったプリント機能

▶13ページ参照

「プリントプレビュー」では、異なる画像サイズと用紙サイズを一致させることができます。また特にPhotoshop CS2では、インクジェットプリンタの使用も考慮し、カラーマネジメント設定をわかりやすく再定義。これによりプリント後の状態を想定しやすくなりました。プリントの失敗を防げます。



# Vanishing Point

(バニッシングポイント)

2次元の壁を越えて

## Vanishing Point CS2 NEW

(バニッシングポイント)

バニッシングポイントは、画像の壁面や床面など、パースを持つ部分に対する画像編集やグラフィック処理を、未だかつてないスマートな方法で実現します。上は、風景写真に別に用意した画像を看板として合成した例です。もともと長方形だった画像が、パースに合わせてスマートに変形、合成されています。なお、バニッシングポイントには、コピースタンプツールに似た機能も用意され、画像中の壁面や床面の不要物をパースに合わせて消すことも可能です。

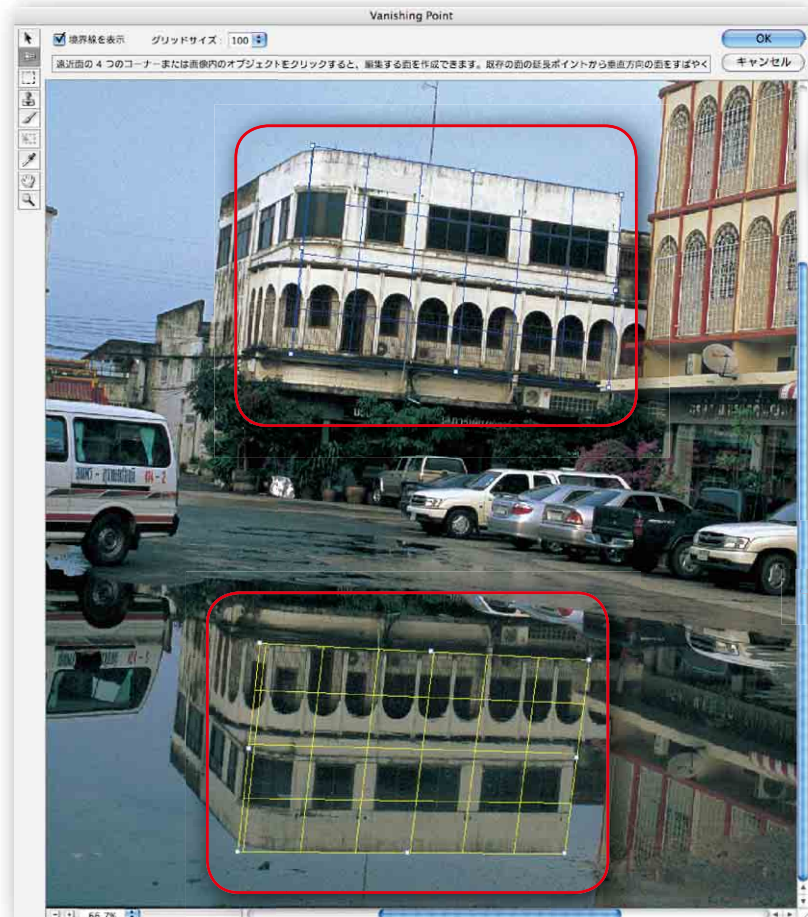


▶ Vanishing Point (バニッシングポイント) はフィルタメニューにあります。

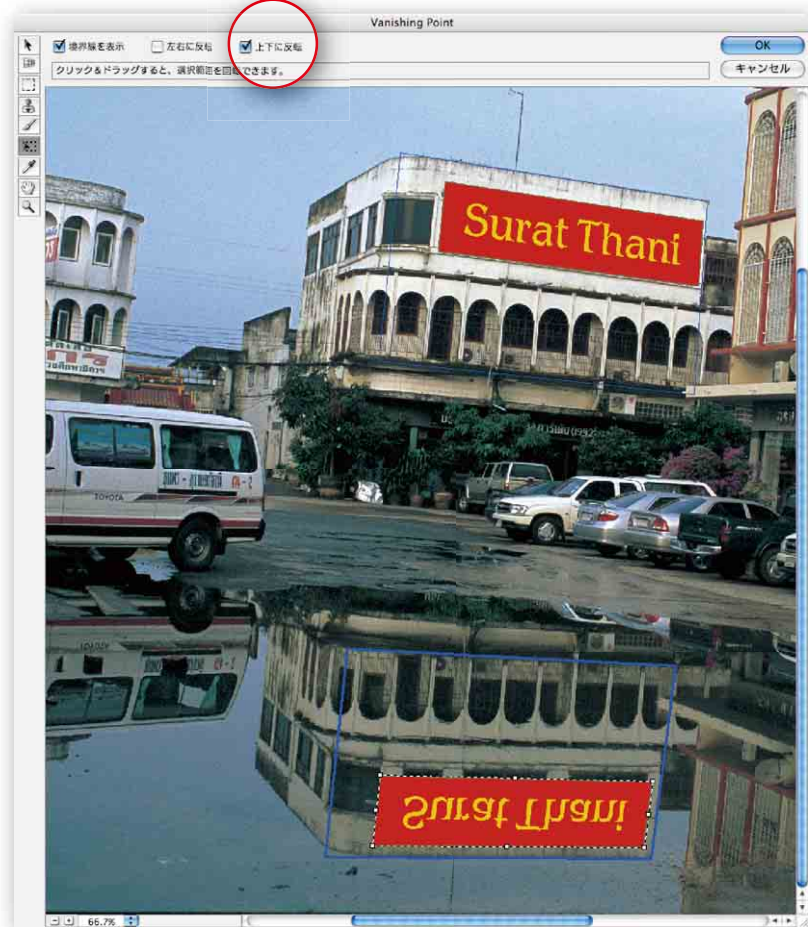
Vanishing Point (バニッシングポイント) とは、デザイン用語でいうところの「消失点」。遠近法に基づいた画像の変形機能のことです。画像が持つパース (遠近) を利用して、パースに合うように別の画像を自動的に変形。これにより、建物の壁や床面などの合成や修正をスマートに行います。



▶ (左) ビルの窓に看板を配置してみます。水面に映るビルも同様に処理。  
(右) タイの繁華街に「Adobe Photoshop CS2」の看板が!?

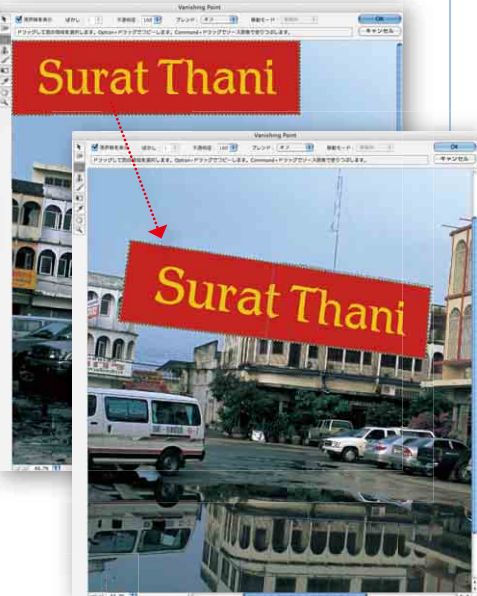


▶ 面作成ツールを使い、基準となるコーナーをクリックする事でパースを作成。これが画像変形の基準となります。不適切なときはパースが黄色や赤色で表示されます。青色で表示されるように調整してください。



▶ 水面に映るビルの窓にも看板をコピー。上下に反転のチェックを入れると、パースを保ったまま画像が反転します。

- 1 新規レイヤーを作成し、フィルタ/Vanishing Pointを選択。編集結果はこのレイヤーに反映されます。看板にする画像はあらかじめ用意しておきます。
- 2 面作成ツールで壁面のパースを作成します。水面に映り込んだ部分にも面 (パース) を作成します。
- 3 別途用意してある看板の画像をクリップボード経由でペースト。これをメッシュの中にドラッグすると、メッシュのパースに合わせて画像が自動的に変形されます。サイズと位置を調整します。



- 4 画像をoptionキー (WindowsはCtrlキー) を押しながらドラッグして水面部分にコピー。さらに、画面上部の「上下に反転」にチェックを入れて反転処理後、不透明度やブレンドモードの調整します。作業が完了したら「OK」をクリック。看板と壁面をなじませるために、不透明度やブレンドモードの調整、ブラシツールによる描画を行います。



▶ 手前の看板の一部を奥に移植してみましょう。奥行きのある空間に対しても、パースに合わせた面の作成により、簡単に画像の加工が可能です。





▶カスタム…宙に舞う一枚の写真。  
端がめくれた表現も簡単に。

## ワープ CS2 NEW

従来までのPhotoshopには、文字に対するワープ機能が備わっていました。Photoshop CS2では、その機能を拡大させ、画像に対してもまさに自由自在な変形を実現しています。基本的なワープの使い方は簡単。「円弧」や「アーチ」「魚眼レンズ」など、用意された形を選べばすぐに変形できます。また「カスタム」では、メッシュ状に表示された格子線やハンドルをドラッグすることで、自由な形に変形できます。もちろん用意された規定の形を元にした変形も可能です。



画像を自由自在に変形したり、余分な部分を消去したり、さらに修復したりといった画像の複雑な編集作業。そんなデザイナーの要求にも、Photoshop CS2は優れた操作性と高い品質で十分に応えます。

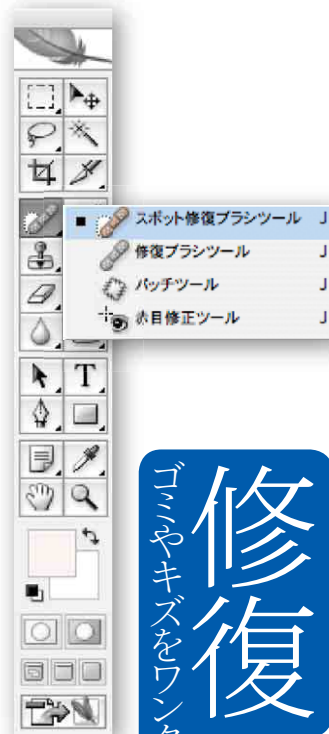
▶これまで変形フィルタの「シア」などで表現していた円筒形に巻き付けるような表現も、より簡単かつ高品質に行えるようになります。



▶「旗」「貝殻」「円弧」など、プリセットによる変形を基に、ハンドルやメッシュをドラッグして好みの形に変形できます。

## スポット修復ブラシツール CS2 NEW

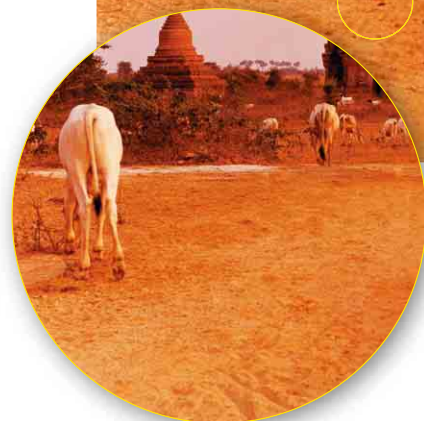
これまで画像中の不要物の消去やゴミ、キズの修復をする際は、コピー元を指定する必要がありました。しかしこの「スポット修復ブラシツール」は、消したい部分でクリック、またはブラシ感覚で塗りつぶすだけでOK。コピー元を指定することなく、不要物やゴミ、キズをきれいに消去してくれます。手軽なだけでなくコピー元の領域が狭く指定しにくい部分などにも大変有効です。



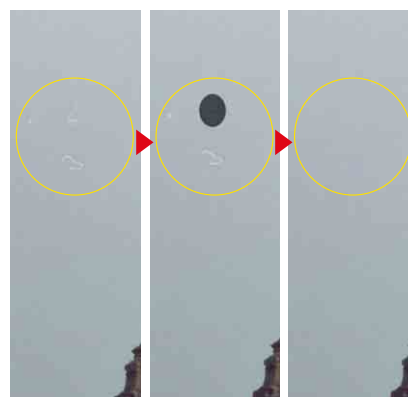
## 修復 ゴミやキズをワンクリックで修復



▶選択範囲を作成する「パッチツール」は広い範囲のレタッチするのに有効です。左 (P10下段) はこの画像にワープで加工した画像を重ねたものです。



▶「コピースタンプツール」と異なり、ワンクリックでレタッチ可能。周辺画像と違和感がないように自動的に色や明度、テクスチャが処理されます。

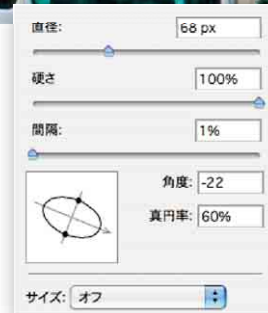


▶(左) 画像にあるゴミ。(中央) スポット修復ブラシツールで画像をクリックした状態。(右) 繰り返し、すべてのゴミが除去された状態。



## 修復ブラシツール パッチツール

スポット修復ブラシツールでうまく処理できない部分や、あるいは修正部分が広範囲にわたるようなレタッチには、「修復ブラシツール」や「パッチツール」を利用します。「コピースタンプツール」と同じようにコピー元を指定後、コピー先でクリック、ドラッグしますが、その際、単純に画像をコピーするのではなく、修正箇所とその周囲とが不自然な結果にならないよう、明度や色、テクスチャなどを自動的に処理するのが特徴です。



▶手間がかかる電線を消す作業も、「修復ブラシツール」を使うと簡単に行えます。より効果的な処理を行うには、ブラシの形状や硬さなど調整します。



高度な画像処理機能は、Photoshopが目指す進化の目的の一つですが、同時に使いやすい操作性もバージョンアップと共に進化してきました。Photoshop CS2では、クリエイターの直感をスムーズに形にするための操作性やインターフェイスも使いやすく改良されています。



ドラッグ&ドロップで  
複数のレイヤーを一気に移動

▶ベースとなる「画像データA」。  
ここに「画像データB」のレイヤーを  
まとめて移動。

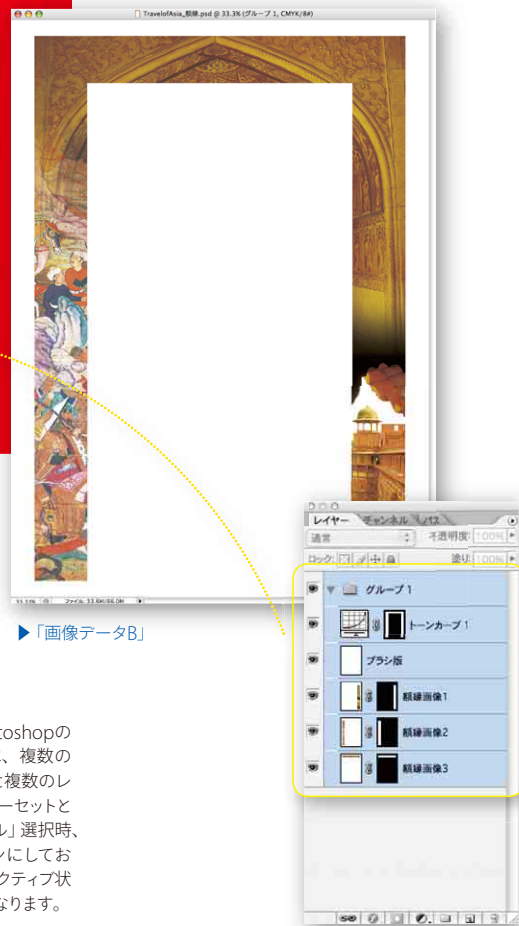
## レイヤー

レイヤーを利用した画像の高度な管理はPhotoshopの得意とするところです。Photoshop CS2では、複数のレイヤーを同時に選択してコピーしたり、また複数のレイヤーをグループ化してまとめ、一つのレイヤーセットとして扱うことができます。さらに、「移動ツール」選択時、「レイヤーを自動選択」チェックボックスをオンにしておくと、スマートガイド機能が有効になり、非アクティブ状態のレイヤーに対しても選択や移動が可能になります。

## 複数レイヤーの オブジェクト編集を スマートに CS2 NEW

複数レイヤーに配置されたオブジェクトを編集するのも、Photoshop CS2のスマートガイド機能を利用すれば効率的に行えます。「移動ツール」選択時に「レイヤーを自動選択」がチェックされていれば、非アクティブのレイヤーに配置されているオブジェクトをそのまま選択、移動可能です。また異なるレイヤー間の複数オブジェクトの整列にも対応しています。

## 複数のレイヤーを 同時選択して異なる ドキュメントに配置



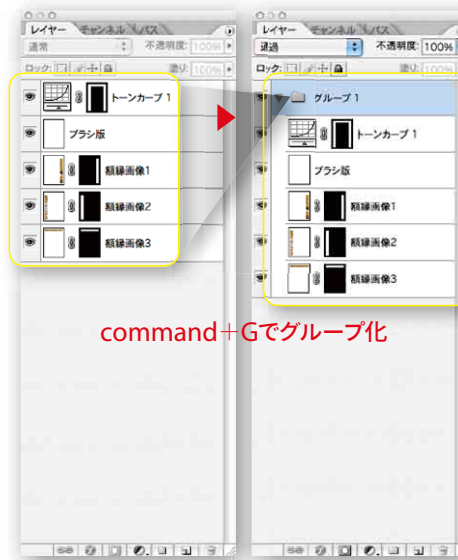
▶「画像データB」



▶必要な部材のレイヤーをグループ化することで、整理や分布も簡単に行えるようになります。

## 複数レイヤーを ひとまとめにする グループ化

Photoshopでグラフィック処理を行っていくと、どうしてもたくさんのレイヤーが作成され管理が煩雑になります。これをわかりやすくするのがレイヤーのグループ化機能。関連するレイヤーを一つのグループレイヤーにまとめることで、レイヤー管理がすっきりします。なお、グループレイヤーに対しても不透明度の調整や、描画モードの変更を行うことが可能です。



command+Gでグループ化

▶複数のレイヤーをグループ化するには、command+Gキーを押します。グループ化をやめるには、グループレイヤーから独立させたいレイヤーを別の部分にドラッグします。

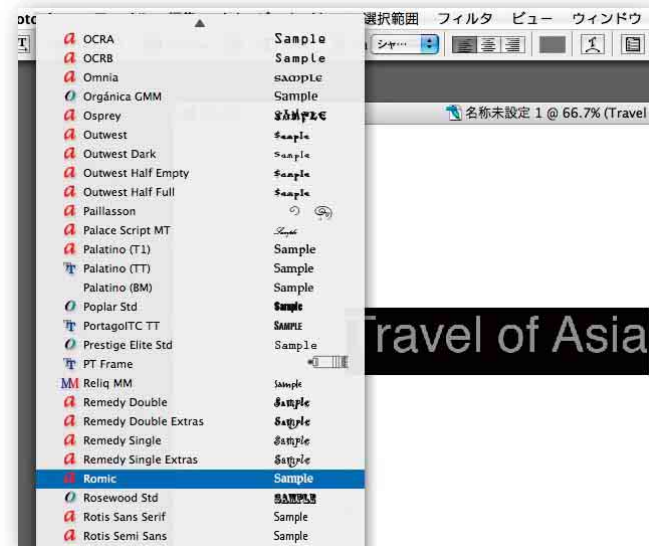
## フロントプレビュー

## プリント

多彩なプリントプレビューで印刷の試行錯誤を軽減

## フロントプレビュー CS2 NEW

Photoshop CS2では、フロントメニューの横に、書体サンプルが表示されるようになっています。もう、実際に文字を入力しなければ書体デザインがわからないということがなくなりました。わかりやすくスピーディーなフロント選びをサポートします。



▶膨大なフロントメニューからでも、目的のフォントを選ぶのが簡単です。

## プリント

プリントプレビュー画面では、画像のサイズと用紙サイズが異なっても用紙にフィットさせたり、カラーマネジメントを利用したプリント設定が行えます。特にカラーマネジメント機能はメニューが再構成され、インクジェットプリンタ利用時でも設定がわかりやすくなりました。また、「説明」欄が追加され、マウスがポイントしている機能のヘルプが表示されます。

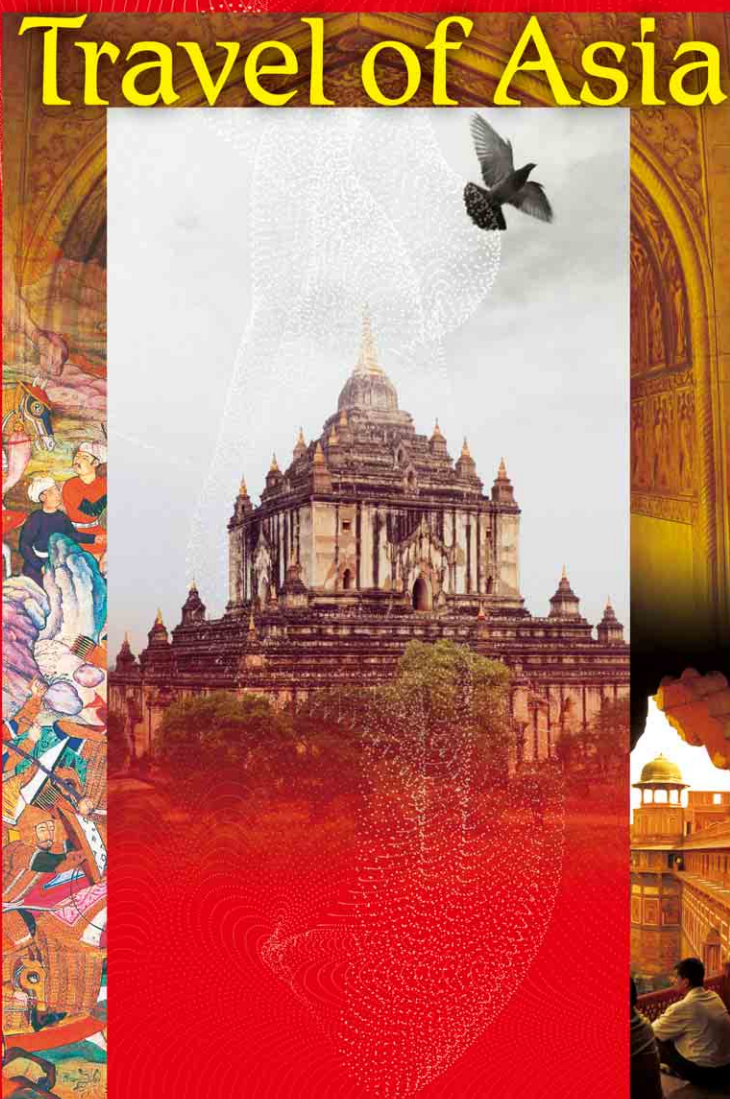


▶プリントプレビューに「オプション」欄が追加され、カラーマネジメントをPhotoshopで行うか、プリンタで行うかの指定が可能になりました。



# スマートオブジェクト

ベクトルとビットマップの華麗なる融合

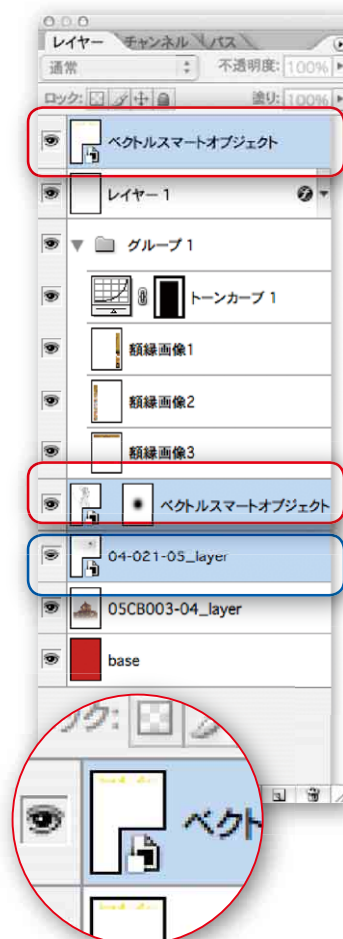


## スマートオブジェクト CS2

クリエイティブ作品を作る際、レイヤー上の画像に対して縮小・拡大をしたり、変形を行ったりすることはよくあります。しかし、これらの作業を繰り返すと解像度や画質が低下することが問題でした。スマートオブジェクトはその問題を完全にクリア。オリジナルのデータを内部的に保存するため、どんなに変形を繰り返しても画質が極端に劣化することはありません。通常の画像をスマートオブジェクトに変更するにはレイヤーメニューから選ぶだけ。縮小・拡大に有効だけでなく、ワープなどの変形機能も利用可能です。

「ビットマップ画像をベクトルデータのように扱いたい…」

グラフィックデザインに関わるクリエイターなら誰もがそう思ったことがあるはずです。スマートオブジェクトは、画像の縮小や拡大などの変形を繰り返しても、画質（解像度）を低下させずに元の画質を保つ機能。だから最後まで高画質を維持します。Adobe Illustratorとの連携でも有効です。



▶スマートオブジェクトのレイヤーには、このようなアイコンが表示されます。スマートオブジェクトレイヤーをダブルクリックすると、元のビットマップ画像やベクトルデータの再編集が可能になります。



## コピー&ペーストでPhotoshopへ

クリップボードのデータをどの形式でペーストするかを選べます。ここでは「スマートオブジェクト」を選択しています。



## 新しいビットマップ画像を配置

ビットマップデータをスマートオブジェクトに変更するには、「レイヤー」メニューの「スマートオブジェクト」から「新規スマートオブジェクトに変換」を選びます。

## 通常のデータの場合

ビットマップ画像



▶通常のビットマップ画像では、一旦縮小して再度拡大した場合、画質劣化が顕著です。

## スマートオブジェクトの場合

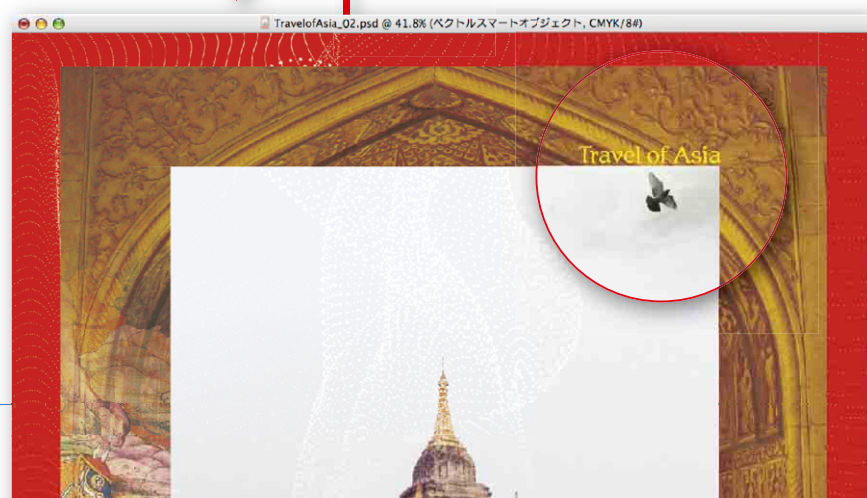
ベクトル画像



▶スマートオブジェクトを利用すると、何度縮小・拡大や変形を行っても画質や解像度が低下しません。

一旦縮小して…

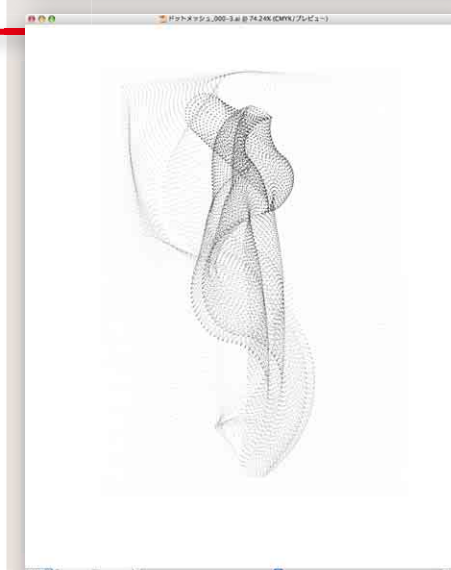
再び拡大すると…



スマートオブジェクトは、スマートオブジェクトをラスターライズするまで、内部的にオリジナルデータを保持し続けます。そのため、オリジナルデータの再編集が可能です。ただし、「自由な形に」と「遠近法」の変形機能やフィルタが利用できません。それらを利用するには、いったんラスターライズする必要があります。

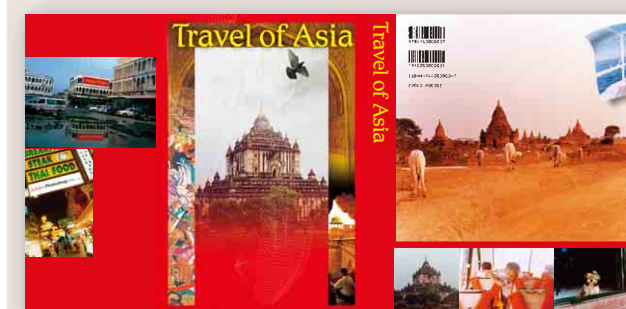
## Adobe Creative Suite 2 との連携例

### ◀ Adobe Illustrator CS2から



▶Adobe Illustratorで作成したロゴや、地紋、パターンなどのデータを、ベクトルデータのままPhotoshopにペーストできます。

### ▶ Adobe InDesign CS2へ



▶完成した画像をInDesign上でレイアウトし、フライヤー、チケットなどのアイテムに展開。すべての作業がAdobe Creative Suite 2でシームレスに行えます。





1 多彩な表示モードを活かして  
ベストショットを選び抜く  
セレクト——  
Adobe Bridge

2 パラメータを駆使して  
撮影時以上のイメージを紡ぎ出す  
RAW現像——  
Camera RAWプラグイン

3 写真を自在に操りフィニッシュする  
レタッチ

# for Photographers

フォトグラファーにとってもはや必須のツールであるPhotoshop。

そしてPhotoshop CS2 の進化は、フォトグラファーにこそ使ってほしい機能が満載。

RAWデータやTIFF、JPEGといった画像形式にとらわれず、一元化したワークフローを実現し

ハイクオリティでハイパフォーマンスなフォトエディティング環境を提供するなど、

Photoshop CS2でなければできない、新たなフォトイメージングの世界が広がります。

写真のセレクト、現像、レタッチまで…。  
ワークフローをスマートに再構築し、  
フォトイメージングの完成度を追求する。  
デジタルで飛躍するフォトグラファーのために。



# 1

多彩な表示モードを  
活かしてベストショットを  
選び抜く

## セレクト—— Adobe Bridge

多彩な表示モードを  
活かしてベストショットを  
選び抜く



画像を拡大表示して  
細部をチェック

# フィルムストリップ<sup>®</sup> 表示

写真を1点ずつ入念にチェックしたいなら、画像を拡大表示するフィルムストリップ表示に切り替えましょう。サムネイル(ストリップ)欄で選んだ写真が拡大表示されます。サムネイル欄の画像をカーソルキーで変更すれば、それぞれの画像を拡大して軽快にチェックできます。

# デジタルフォトグラフィーの ワークフローを完全サポート

デジタルになって画像のセレクトや現像で作業が大変になった…。

そんな声も聞かれますがAdobe Photoshop CS2はそんな心配も過去のものにします。

「本当に必要とするカットを素早く見つける」Adobe Bridgeと、  
「選んだカットを思いのままに現像する」Camera RAWプラグインとが、  
本当のデジタルワークフローを実現します。



大量のカットを  
ブラウズ&粗セレクト

## サムネール表示

無段階に画像サイズを変えられるサムネール表示で、写真をざっと選びましょう。色つきの「ラベル」と、星(★)の数で示す「レーティング」で目印を付けます。色は5色、星の数は5つ。これを組み合わせることで、被写体の種類と順位付けといった複数の要素で写真のセレクトをサポートします。



## 自分仕様の表示モードを設定

## 表示形式のカスタマイズ

それぞれのワークフローの形に合わせて、表示形式（ワークスペース）を自由に設定できるのもAdobe Bridgeの特徴です。サムネール欄や情報パレットの表示の有無、ウィンドウのサイズなどを記録できます。図は、普及が進んでいる大画面のモニターを利用した写真の比較用のカスタマイズ例です。

## 複数画像の 同時処理現像作業を加速

ブラウズ&  
デベロッパ

Camera RAWプラグインは、RAW画像を高精細かつスピーディーに現像するツール。明るさや色み、コントラストの調整や、ノイズ低減処理などを行います。複数画像の選択と400%までの拡大表示、クリッピング(画像のシャドウつぶれやハイライト飛びの確認)表示もできるので、ここで最終的な画像チェックもフォローします。

複数のRAW画像の同時現像  
に対応。現像パラメータのシン  
クロも可能。

## 思いのままの仕上がり設定

## パラメータ設定の保存

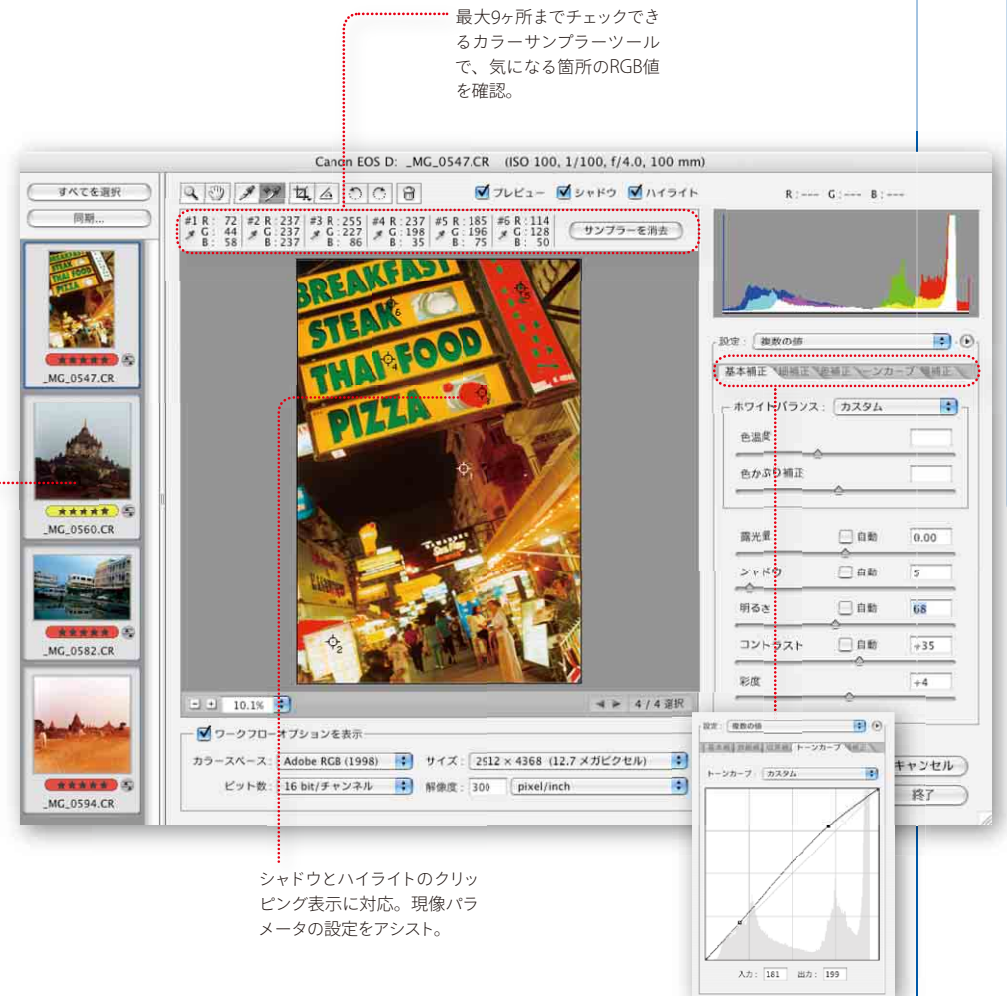
銀塩写真ではフィルムを変えることで仕上がりイメージが変わります。デジタルでは、それは現像パラメータの役割。その各種パラメータをセットとして保存しておくことができます。これを利用して、たとえば「ポートレート用」「風景写真用」、あるいは「ポジフィルム風」「ネガフィルム・プリント風」などのような仕上がりを手軽に設定可能です。

# 2

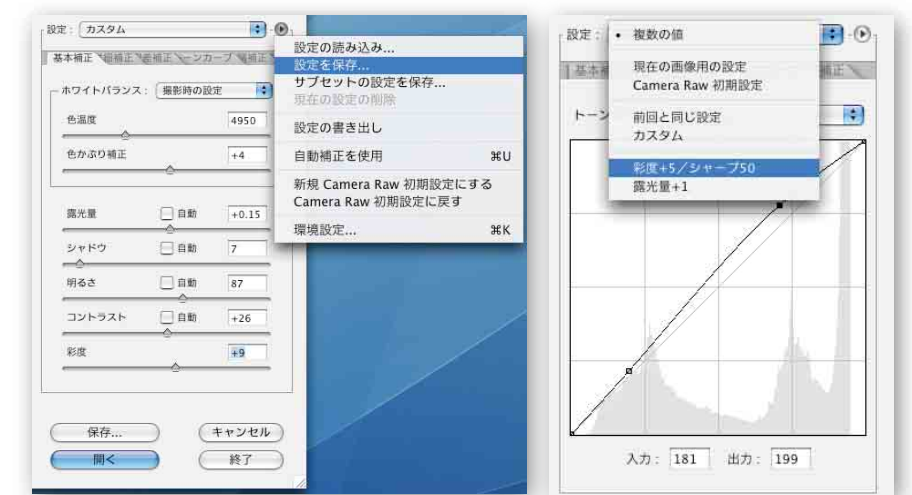
パラメータを駆使して  
撮影時以上のイメージを紡ぎ出す

## RAW現像—— Camera RAWプラグイン

パラメータを駆使して  
撮影時以上のイメージを紡ぎ出す



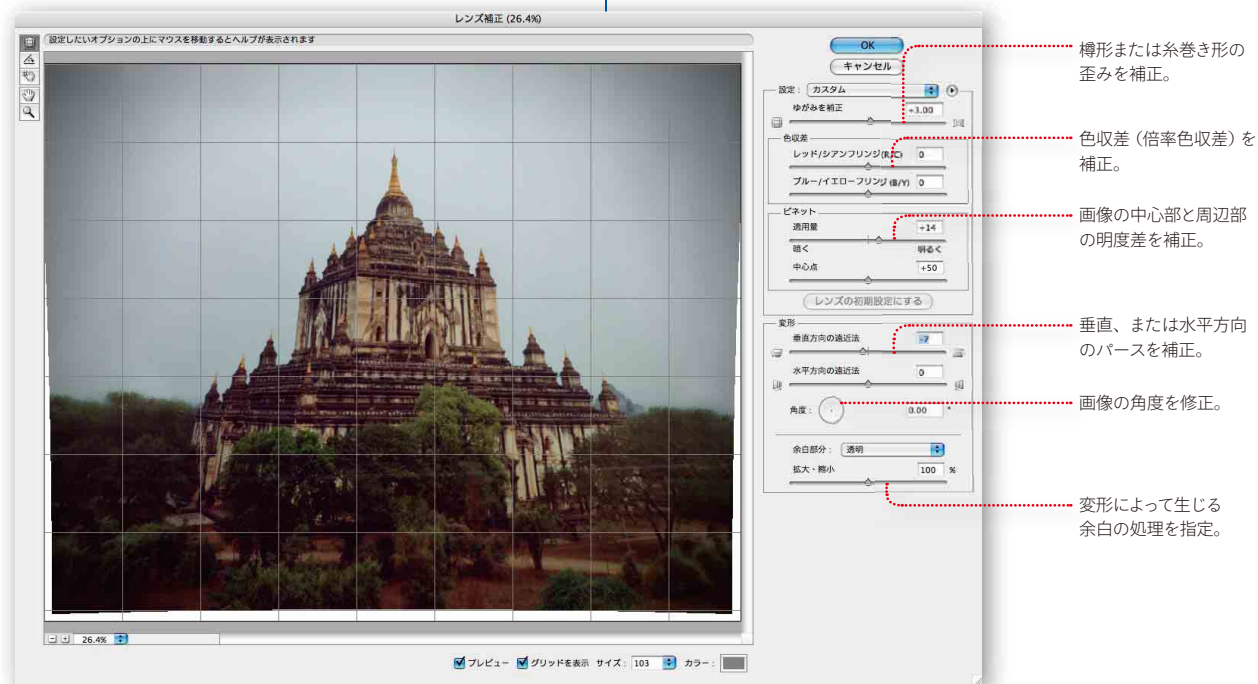
トーンカーブで、現像時に調子を追い込むことも。



▶保存したパラメータのカスタムセットは「設定」メニューから呼び出せる。「基本補正」「詳細補正」「トーンカーブ」などタブのパラメータ設定が記録されている。



## 3

写真を自在に操りフィニッシュする  
レタッチ

レンズ補正前

▶樽型、糸巻き型の歪曲収差や、垂直、水平の遠近補正、さらに角度補正をこの画面で処理できるため、画質劣化を最低限に抑えることができます。これまでCamera RAWプラグインになかった色収差やビネット補正も可能です。



レンズ補正後

デジタルシフトを可能にし、光学的な劣化を補正する

## レンズ補正 CS2 NEW

建築写真やインテリア写真では水平や垂直であることが重要視されます。「レンズ補正」フィルタを利用すると、レンズの歪みや、遠近感（パース）、角度などを一度に補正。これまで複数の変形機能で補正していた処理ですが、「レンズ補正」の一括処理によって作業が効率的になるだけでなく、画質の劣化を抑えることにも貢献します。

写真を自在に操り  
フィニッシュする

デジタル写真を補正するために実にさまざまな機能を備えたPhotoshopは、まさにフォトグラファーに欠くことのできないパートナー。Photoshop CS2ではさらに、写真の撮影技術だけでは回避できない光学的な諸収差の補正や、ノイズ処理機能、シャープ処理機能を追加。デジタルフォトグラフィーのフィニッシュワークをより完璧なものとしします。

デジタル特有のノイズ感を目立たなくする

## ノイズを低減 CS2 NEW

ノイズを目立たなくするだけでなく、ディティール（細部）の輪郭維持を両立させるのが「ノイズを低減」フィルタです。デジタル画像特有の高感度撮影時のノイズや暗部ノイズを目立たなくするだけでなく、JPEG画像の反転や輪郭部のノイズ（ハロー）を低減する機能も備えています。



ノイズ低減後

RGB時代の新しいシャープネスフィルタ

## スマートシャープ CS2 NEW

フォトグラファーの悩みの種の一つがシャープ処理。新しく搭載された「スマートシャープ」は従来の印刷用シャープフィルタである「アンシャープマスク」に代わる、フォトグラファーのためのシャープフィルタです。輪郭部に過度なフリッジを発生させることなく、シャープ処理が可能です。



スマートシャープ処理後

まだまだ見逃せない  
Photoshop CS2の多彩な機能  
その他フォトグラファー  
向け機能 CS2 NEW

## 32bit HDR (High Dynamic Range)

16ビットを超える32ビットの超多階調画像。高画質フォトグラフの他、CGなどの素材作成にも利用可能。

## イメージプロセッサ

RAW画像を一括変換してPSDやTIFF画像に変換  
▶22ページ参照

## スポット修復ブラシツール

写真に入った細かいキズやほこりをワンクリックで消去。  
▶11ページ参照

## 赤目修正ツール

1クリックで赤目を修正。

## レンズフィルタ

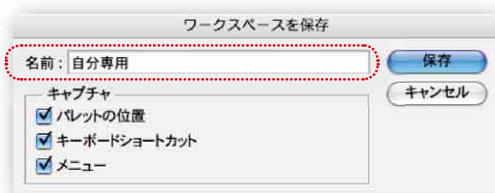
色補正のためのレンズフィルタに富士フィルムの「LBB」「LBA」を追加。



## カスタマイズで 自分好みのPhotoshopに 瞬時に切り替わる

## ワークスペース

Photoshop CS2では「ワークスペース」の利便性が飛躍的に高まっています。単にパレットの位置を保存するだけでなく、好みのショートカットにアレンジしたり、パレットメニューやアプリケーションメニュー表示の変更をしたりと、カスタマイズしたすべての設定を「ワークスペース」として保存が可能です。



▶パレットの位置、キーボードショートカット、メニューをまとめて保存し、いつでもその状態を呼び出すことができます。



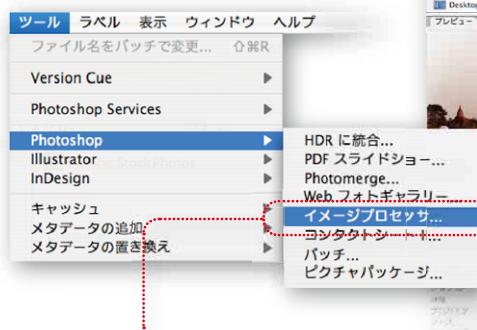
▶メニューには「アプリケーションメニュー」と「パレットメニュー」があり、各々詳細にカスタマイズが可能です。

▶作業に応じたプリセット (9種類) が用意されています。もちろんオリジナルの設定も作成可能です。

## 退屈で煩雑な作業を 自動化

## イメージ プロセッサ CS2

使用サイズに合わせてリサイズしたり、クライアントの要望や用途によって様々なファイル形式に変換、加工することも多いはず…。イメージプロセッサを使えば、そうした退屈で煩雑な作業を自動化させることができます。



▶イメージプロセッサはPhotoshopから起動可能ですが、Adobe Bridgeから起動することで、より便利に作業することができます。

イメージプロセッサは、複数のファイルを同時に変換して処理します。「バッチ」コマンドとは異なり、イメージプロセッサでは最初にアクションを作成せずにファイルを処理できます。イメージプロセッサでは、次のいずれかの操作を実行できます。

- ファイルのセットをJPEG、PSDまたはTIFFの各形式に変換するか、同時に3つすべての形式に変換します。
- 同じオプションを使用してCamera RAWファイルのセットを処理します。
- 指定したピクセル寸法内に収まるように画像のサイズを変更します。
- カラープロファイルを埋め込むか、ファイルのセットをsRGBに変換してWeb用のJPEG画像として保存します。
- 著作権のメタデータを変換後の画像内に挿入します。

## アプリケーションメニューの カスタマイズ例

頻繁に使用するメニュー項目をハイライトしたり、使わないメニューを非表示にするなど、自分が最も使いやすいように、メニューのカスタマイズが可能です。



▶プリセットより「基本」を選択。その名の通り基本機能以外のメニューは、非表示になるよう設定されます。

▶プリセットより「カラーと色調補正」を選択。色調のコントロールに関するメニューがハイライトされ、関連する機能が見つけやすく表示されます。

# for All Users

「山椒は小粒でもびりりと辛い」と言うように、一見すると地味で小さく見える機能であっても実は効果絶大。

すべてのPhotoshopユーザーにおすすめする

見落としがちな機能をご紹介します。

## Adobe Photoshop CS2の アドバンテージ

Photoshop CS2ではじめて可能になった主要機能をピックアップ。

### 特にお勧めする方

**D** for Designers **P** for Photographers **A** for All Users

### 入力／データのサポート

従来の「ファイルブラウザ」が「**Adobe Bridge (アドビブリッジ)**」として大きく進化。グラフィックファイルのサムネールを自由な大きさで表示。他のアドビアプリケーションとも密接に連携し、Adobe Stock Photosサービスも利用可能。

複数のRAWデータに対して、色調、トーンカーブ、切り抜きなどの調整を同時に処理し、RAWデータのスムーズなワークフローを実現。

32bit HDR (High Dynamic Range) 画像のサポートにより、露光量の異なる複数の画像を、ダイナミックレンジを広げながら1つの画像に統合することが可能。

### 多階調のHDRを効果的に補正

「露光量」は、リニアカラースペース (ガンマ1.0) で計算し画像を補正。露光量・オフセット・ガンマの調整が可能。

### 作業を効率的にする優れたデザインツール

「**スポット修復ブラシツール**」で、写真に入った細かいキズやほこりを16bit画像のままで、ワンクリックで消去可能。

赤目の部分およびその周辺をワンクリックするだけで、瞬時に赤目を修正可能。16bit画像をサポートしており、適用するサイズや明るさのレベルも自在に調整。

### インテリジェントな画像編集ツール

画像に対して拡大縮小、カーブ、カーブといったさまざまな形に画像を変形できる「**ワープ**」。パッケージのモックアップや立体効果を簡単に作成可能。

読み込んだビットマップ画像やベクトルグラフィックを劣化させることなく、拡大縮小、回転、変形することが可能な「**スマートオブジェクト**」を搭載。

### 簡単な操作でも、ハイレベルで効果的なレタッチ機能

「**Vanishing Point (バニッシングポイント)**」で、遠近感の調整を自動的に行いながら、選択したオブジェクトを別の場所にコピー&ペーストし、周辺エリアに馴染むようコントロール可能。

画像の不鮮明な部分をレンズ、ガウス、ぶれなどの対象画像が持つ、ぼけ具合を指定することによって簡単にシャープにする「**スマートシャープ**」。

高感度の撮影で生じがちなノイズを削減したりJPEGアーティファクトを除去する「**ノイズの低減**」フィルタや、レンズの特性でおこる樽型や糸巻き型のゆがみを補正可能な「**レンズ補正**」フィルタを搭載。

### あらゆる作業を自動化し、繰り返し作業を効率的に処理

一連のワークフローにおいて、ある時点まで作業が進むと自動的に**イベントベースのスクリプト**が実行され、より少ないステップで同じ結果を取得。

「**イメージプロセッサ**」で、複数のRAWファイルに元画像を劣化させることなく、TIFF/PSD/JPEG形式に一括処理。

### 出力／データのサポート

一新された**PDFエンジン**でカスタマイズ可能な共有PDFプリセットを搭載。PDF 1.6/Acrobat 7.0との互換性もサポート。

選択したフォルダや画像をフルスクリーンで**スライドショー**表示できるので、撮影した写真にレーティング・ラベル付けといった作業を直感的に実行可能。

### スムーズなワークフローをサポートする操作性の向上

複数のレイヤーをキャンバス上で直接クリック&ドラッグを行い、どのレイヤーにあるオブジェクトでも直感的に選択、移動、変形、グループ化することが可能。

**ブルダウンメニューの表示・非表示**や**カラーでハイライト表示**が可能。「ワークスペース」として設定を保存でき、作業に応じたプリセットも用意。

フォントメニューに各書体のサンプル表示で見やすい、選びやすい「**フォントプレビュー**」機能を追加。

最新の詳細情報は <http://www.adobe.co.jp/products/photoshop/> にてご確認ください。



# Adobe® Photoshop® CS2 日本語版

## デジタル画像編集のプロフェッショナルスタンダード

デジタル画像編集のプロフェッショナルスタンダードとしてPhotoshopファミリー製品の頂点に立つAdobe Photoshop CS2は、想像以上のパワーとスピード、そしてクオリティを実現します。革新的でクリエイティブなツール群を備え、ニーズに応じてメニューやワークスペースのカスタマイズも自由自在。画像の作成・編集およびファイル処理がいつも効率化され、わずかな時間で驚くほどの結果を得ることが出来ます。



Macintosh®/Windows®

### 必要システム構成

#### Macintosh®

- PowerPC® G3、G4、またはG5プロセッサ\*
- Mac OS® X v.10.2.8～10.4日本語版 (10.3.4～10.4を推奨)
- 320MB以上のRAM (384MB以上を推奨)
- 950MB以上の空き容量のあるハードディスク (Photoshop CS2のみ起動する場合。Adobe ImageReady CS2、Adobe Bridgeを起動する場合、追加で450MB以上の空き容量のあるハードディスク)
- 1024×768以上の解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- CD-ROMドライブ
- プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続

\*PowerPC G5にはMac OS X 10.3以上が必要です。

#### Windows®

- インテル® Xeon™、Xeon Dual、Centrino™、Pentium® IIIまたは4クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 2000 (Service Pack 4) 日本語版、またはWindows XP (Service Pack 1、2) 日本語版
- 320MB以上のRAM (384MB以上を推奨)
- 700MB以上の空き容量のあるハードディスク (Photoshop CS2のみ起動する場合。Adobe ImageReady CS2、Adobe Bridgeを起動する場合、追加で50MB以上の空き容量のあるハードディスク)
- 1024×768以上の解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- CD-ROMドライブ
- プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためにブロードバンドインターネット接続

### 含まれるアプリケーション

- Adobe Photoshop CS2日本語版
- Adobe ImageReady CS2日本語版
- Adobe Bridge日本語版

### 詳細情報

Adobe Photoshop CS2日本語版について詳しくは  
<http://www.adobe.co.jp/products/photoshop/>  
をご覧ください。

### 対応ファイル形式

ファイル形式 (拡張子)	読み込み	保存
Alias Pix (.pix)*	●	●
BMP (bmp, .rle, .dib)	●	●
Camera Raw (.tif, .crw, .cr2, .erf, .x3f, .raf, .dcr, .mos, .mrw, .nef, .orf, .pef, .raw, .srf)	●	
Cineon (.cin, .sdpx, .dpx, .fido)	●	●
CompuServe GIF (.gif)	●	●
Desktop Color Separation (DCS, .dcs)	●	
Digital Negative (.dng, .DNG)	●	●
Electric Image (.img, .ei, .eiz, .eizz)*	●	●
EPS PICT プレビュー【Macのみ】	●	
EPS TIFF プレビュー (.eps)	●	
Filmstrip	●	●
JPEG (.jpg, .jpeg, .jpe)	●	●
JPEG 2000 (.jpf, .jpx, .jp2, .jpc, .j2c)*	●	●
MacPaint (.mpt, .mac)*	●	
OpenEXR (.exr)	●	●
PCX (.pcx)	●	●
Photoshop (.psd, .psb, .pdd)	●	●
Photoshop 2.0【Macのみ】		●
Photoshop EPS (.EPS)	●	●
Photoshop DCS 1.0 (.EPS)	●	●
Photoshop DCS 2.0 (.EPS)	●	●
Photoshop PDF (.PDF, .PDP)	●	●
PICT ファイル (.pct, .pict)	●	●
PICT リソース【Macのみ】	●	●
Pixar (.pxr)	●	●
PixelPaint (.pxl)*	●	●
PNG (.png)	●	●
Portable Bit Map (.pbm, .pgm, .ppm, .pnm, .pfm, .pam)	●	●
Radiance HDR (.hdr, .rgbe, .xyze)	●	●
Scitex CT (.sct)	●	●
SGL RGB (.sgi, .rgb, .rgba, .bw)*	●	●
Softimage (.pic)*	●	●
Targa (.tga, .vda, .icb, .vst)	●	●
TIFF (.tif, .tiff)	●	●
Wavefront RLA (.rla)*	●	●
Wireless Bitmap (.wbm, .wbmp)	●	●
ビッドキュメント形式 (.psb)	●	●
フォトCD (.pcd)	●	
汎用 EPS (.ai3, .ai4, .ai5, .ai6, .ai7, .ai8, .ps, .eps, .ai, .epsf, .epsd)	●	
汎用フォーマット (.raw)	●	●

\* Photoshop CS2アプリケーションCD-ROMの「プラグイン (オプション)」にあるプラグインで対応

▶ **アドビ カスタマー サービス** Tel. ナビダイヤル 0570-06-7337 または 03-5350-0407 電話受付時間 9:30～17:30 (土、日、祝日および弊社指定休日を除く)  
▶ **アドビストア (注文専用)** フリーダイヤル 0120-61-3884

Better by Adobe.™

**アドビ システムズ 株式会社** 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー [www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)

このカタログに記載の情報は、2006年4月現在の情報です。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Reader、Acrobat、InDesign、Photoshopは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。MacおよびMacintoshは、米国および他の国々におけるApple Computer, Inc.の登録商標です。インテルおよびPentiumは、アメリカ合衆国および他の国々におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。PowerPCは、International Business Machines Corporationの米国ならびに他の国々における登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国々における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。  
©2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASJST578 4/06

